

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

香川県高松市 みんなの病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	25	対象	ド透I 訓 力	救 臨 臨 災 地 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
422,424	27,300	非該当	非該当	7 : 1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
299	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	6	305
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
271	-	271

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[ ]	令和4年度全国平均

## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の関係・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

### I 地域において担っている役割

中核病院として、地域医療機関との連携を図りながら、良質な医療を提供することはもとより、救急医療やがん医療の充実を図るとともに、実習生等の受け入れによる人材育成など、公立病院として、民間医療機関では困難な医療サービスの提供に努める。また、災害拠点病院として災害時における医療や、市内唯一の第二種感染症指定医療機関として感染症医療に対応する。併せて、医療制度改革に対応し、地域包括ケアの後方支援機能を担うほか、塩江分院へ診療応援ができる体制を整備するなど、圏域のリーディングホスピタルとして、高松市医療全体の最適化に努める。

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、患者数が減少したものの、効率的な病床管理の徹底などにより、診療単価が上昇したことに加え、新型コロナウイルス感染症にかかる補助金を受け入れたことなどにより、経常収益が上昇し、①経常収支比率は100%を上回った。③修正医療収支比率が100%を下回っており、医療収益以外の収入に依存している状況であることや、⑦職員給与費対医療収益比率が退職給付費等の増加により令和3年度より増加しており、類似病院平均値より値が高いことを踏まえると、より実効性のある、収支改善への取り組みが求められる状況である。⑥外来診療単価は、昨年同様、がん治療など、高額薬品を使用する患者が多かったことから、上昇した。④病床利用率は、一部病棟をコロナ専用病棟としたことにより、使用できる病床が減少していることが影響し、コロナ禍前の令和元年度からは大きく減少している。院内クラスターが発生したことにより、入院等の受け入れを一時的に制限したことにより、昨年の値を下回っているものの、全国平均を上回っており、引き続き地域医療連携の強化や効率的な病床管理の徹底に努める。

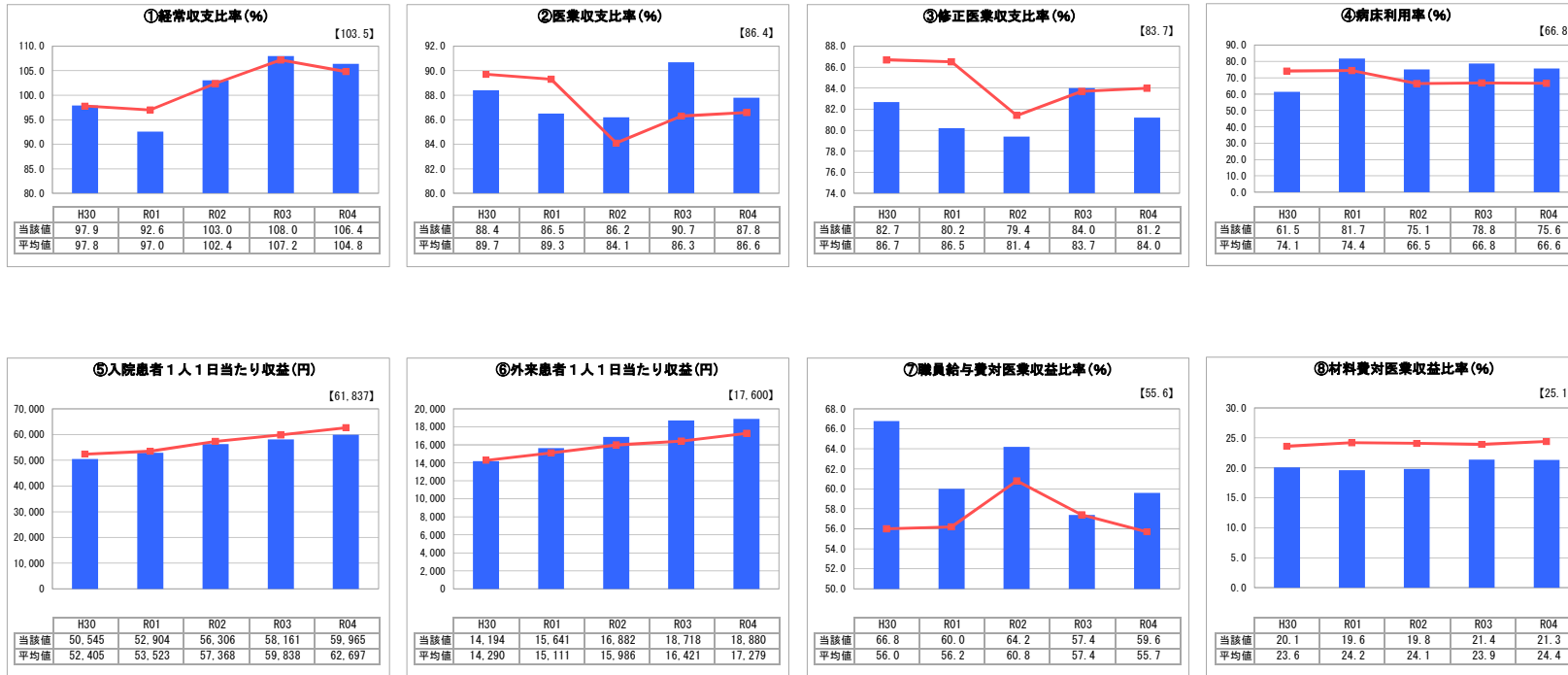
#### 2. 老朽化の状況について

開院して5年目の施設であることから、資産の老朽化を示す①有形固定資産減価償却率・②器械備品減価償却率は、類似病院平均値よりも低い値を維持している。③1床当たり有形固定資産は、「医療情報システム」の更新や「血管造影X線診断装置」等の医療備品を購入したことにより、増加している。

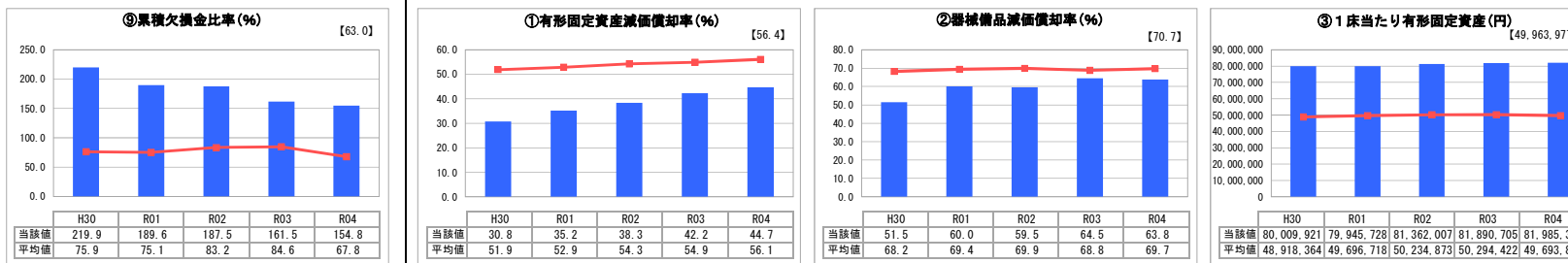
#### 全体総括

新型コロナウイルス感染症の影響等により、患者数が十分に回復していないことや、みんなの病院の整備に係る企業債等の償還に加え、旧市民病院の解体、医療機器の更新等に多額の経費を要することや原油価格の高騰・物価高騰等により、引き続き、厳しい経営状況が続くものと見込んでいるため、更なる収支の改善を図るように努める。

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

香川県高松市 市民病院塩江分院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	訓	^
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
422,424	3,621	第2種該当	-	20:1

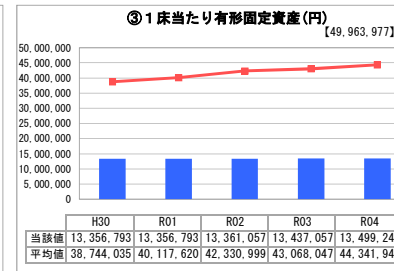
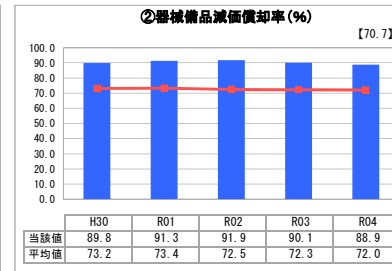
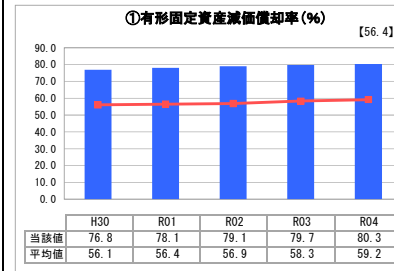
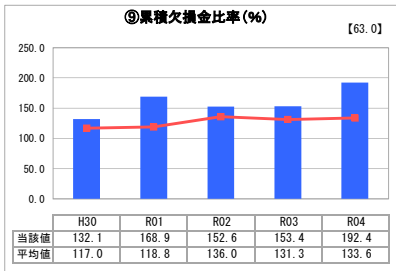
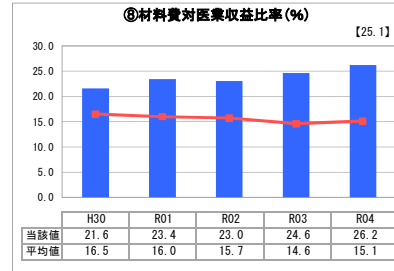
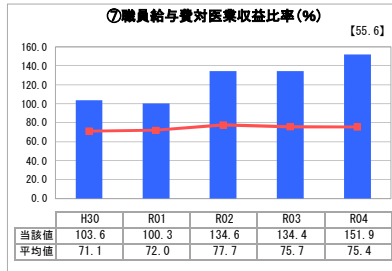
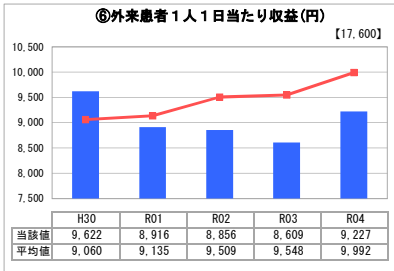
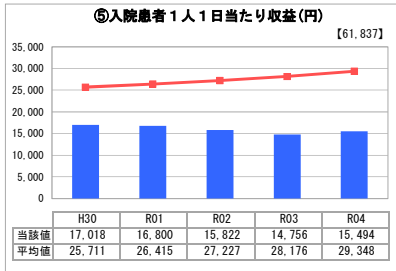
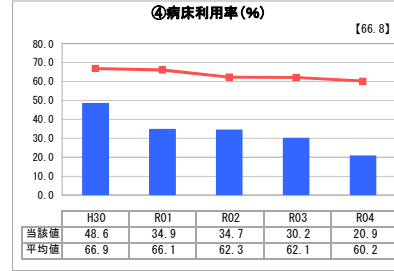
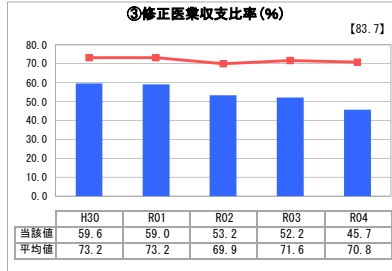
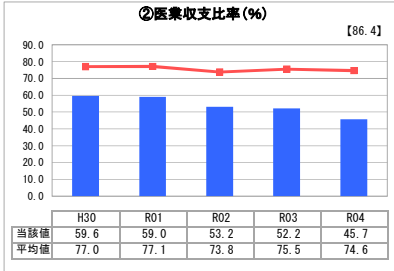
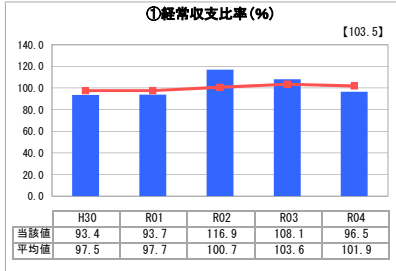
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
-	87	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	87
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
-	33	33

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[ ]	令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）		
機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

**I 地域において担っている役割**  
 民間医療機関の進出が困難な、山間・へき地である塩江町唯一の病院として、みんなの病院との連携のもと、地域に根ざした良質な医療サービスの提供に努める。  
 また、介護療養病床の廃止に併せて、医療療養病床を休廃し、令和6年度以降は、外来診療のみの診療体制となるが、外来患者送迎バスの運行、訪問診療や訪問看護を推進など、地域住民が安心して暮らせる医療体制を確保する。

**II 分析欄**  
**1. 経営の健全性・効率性について**  
 介護療養病床の廃止を見据え、入院調整を行ったことにより、④病床利用率が減少した。また、新型コロナウイルス感染症の院内クラスターが発生したことに伴い、外来受診制限を行ったことから医業収益が減少し、①経常収支比率・②医業収支比率・③修正医業収支比率が低下した。③修正医業収支比率が100%を大きく下回っていることから、医業収益以外の収入に依存している状況である。  
 しかしながら、単価の高い医療病床の入院患者数が相対的に増加したことや、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するために、定期受診の回数を減らしたことにより、1回に処方する薬剤量が多くなったことにより、⑤入院患者1人1日当たり収益や⑥外来患者1人1日当たり収益が増加した。

**2. 老朽化の状況について**  
 塩江分院は、施設を建て替え、みんなの病院の附属医療施設として整備することとなっているため、整備完了までは故障等による更新を除き、現有資産を適切に維持管理することとしている。そのため、①有形固定資産減価償却率・②機械備品減価償却率とも老朽化しており、類似病院平均値よりも高くなっている。また、新たな資産購入を行っていないことから、③1床当たり有形固定資産については、類似病院平均値を大きく下回っている。

**全体総括**  
 人口減少、高齢化が進行した地域の特性上、大幅な患者数の増加は見込めず、今後も厳しい経営状況が見込まれることから、引き続き、みんなの病院との連携のもと、地域医療を提供するとともに、各種業務の改善・効率化等による経費の削減に努める。

※1 類似病院平均値（平均値）については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。